令和８年度

図工科　授業改善推進プラン

小平市立小平第二小学校

	課題（児童の実態、学習状況、指導の実態）	改善プラン（課題の改善プラン、具体的な手だて）
３年	・多くの児童が、表現や鑑賞の活動にすすんで取り組んでいる。 ・授業者の説明が、全体指導だけでは理解しきれない児童がいる。 ・自分のイメージをもつことに時間がかかり、制作にスムーズに入れない児童がいる。	・できる限り分かりやすい説明を心掛ける。（実物を操作する、投影機やプロジェクターで手元を分かりやすくするなど）さらに、友達同士での教え合いなどの姿を称賛し、分からないところを児童同士で補えるように育てていく。 ・手が止まっている児童を見付けたら、今何を考えているかを聞き出し、自分のイメージを持つように支援する。
４年	・多くの児童が、表現や鑑賞の活動にすすんで取り組んでいる。 ・つくり方や、工作の仕組みを、自分から身に付けにいく力を育む必要がある。	・授業者からの説明で全てのつくり方を教えるのではなく、「この工作はどういう仕組みになっているのか、なぞ解きをしてみよう。」という投げかけなどで、児童がつくり方や仕組みを自分から身に付けていく機会を設ける。
５年	・多くの児童が、表現や鑑賞の活動にすすんで取り組んでいる。 ・児童により進度差があり、早く完成する児童には、よりよい作品づくりに向けて工夫する力を養う必要がある。	・「作品がよりよくなるポイント」を全体に周知することで、進度が早い児童は「自分は早い方だからここはこだわってみようかな？」と思えるようにする。さらに、個別のアドバイスや励ましで、さらによりよい作品になるように支援する。
６年	・多くの児童が、表現や鑑賞の活動にすすんで取り組んでいる。 ・作品が完成した時に、「自分の作品に満足した。」と感じられるよう授業展開を工夫する。	・「もう少し付け足しがしたいのに時間が足りなくて最後までできない状況」では、満足感にはつながらないので、できる限り時間の保障をし、自分のやりたいことを全て出し切れるようにする。また、目標時間内に完成できるように、児童自身が計画を立てる機会を設ける。